

# みんなの声

校長 森本 洋司 令和4年7月21日発行



## 1学期終業式「2学期に向け、充実した夏休みに」

本日の終業式では、子どもたちに「始業式」から「7月の全校集会」までの私の講話を基に、一人一人の児童に1学期を振り返らせました。

<p>おぼえていますか？</p> <p>がつきしげうしき はなし 1学期始業式の話</p> <p>もくひょう じぶん まな 目標をもって、自分から学び、 こころ からだ せいちょう 心も 体も 成長させて がんばる子どもを育てる。</p>	<p>おぼえていますか？</p> <p>がつぜんごうしゅうかい はなし 5月全校集会の話</p> <p>ひとり ひどろ しゅやく 一人一人が 主役です。 がんばっている人を見たら 応援してくださいね！</p>
<p>おぼえていますか？</p> <p>がつぜんごうしゅうかい はなし 6月全校集会の話</p> <p>しんけんしゅんかん ことし 人権旬間 今年のテーマ 「自分、友だちいとこ発見 あったかハートの菱形小学校 ～やさしい言葉づかいで～」</p>	<p>おぼえていますか？</p> <p>がつぜんごうしゅうかい はなし 7月全校集会の話</p> <p>まごのめあて 自分を大切に、他の人を大切に ①上の4つを 実行して自信を持ち、 自分を好きになる</p>

## 「恐竜さん」との楽しいふれ合い

7月20日、熊本市経済観光局誘致戦略課からの依頼で熊本県・米国モンタナ州姉妹提携40周年記念「恐竜展 2022 in 熊本」の告知のため、テレビ熊本から「恐竜さんとスタッフ」のサプライズ訪問がありました。感染防止対策及び熱中症防止対策を行い、昼休みの時間を活用して、低学年の子どもたち（希望者のみ）が「恐竜さん」とふれ合いました。子どもたちは、「柔らかかったよ。」「恐竜大好き。」「わあーい。ちょっと怖かったけど、返事してくれた。」などと、思い思いに楽しい一時を過ごしました。スタッフからも、「マナーの良い優しい子どもたちですね。」と、うれしいコメントを頂きました。

感染防止と恐竜担当スタッフの熱中症防止等のため、高学年の実施ができず、残念でした。



## 第5学年 3校合同集団宿泊教室

5年生は、桜井小学校及び田原小学校との3校合同で、集団宿泊教室に臨みました。熱中症対策をし、感染防止対策も行った上での制約はありましたが、何とか二泊三日の実施ができました。「集団での行動や自然体験を通して、『自分と出会う力（考え、伝える）』『人と出会う力（協力、尊重）』『自然と出会う力（自然を大切にする、チャレンジする）』を伸ばす」という目的を一人一人の児童が個に合わせて実現できました。

特に、活動班での活動は、3校の児童が他校の児童を気遣って取り組んでいました。2年後、鹿南中学校に進学予定の児童が入学前に楽しくふれ合う機会にもなっており、貴重な体験となっています。体調を崩して参加できなかった児童も、今後の学校生活の中で体験した児童から良い刺激をもらえるはずですよ。



その上で、安全に過ごして、充実した夏休みにしましょうと話しました。安全面について、3点示し、「自分の命は自分で守る」ことが大切であることなどを促しました。

【裏面に続く】

<p>がつきしげうしき はなし 1学期終業式の話</p> <p>がつき ふ かえ い 1学期の振り返りを生かして、 安全に過ごし、 充実した夏休みにしましょう。</p>	<p>あんぜん すご 安全に過ごす</p> <p>ねちゅうしゅうぼうし ①熱中症防止 かんせんしゅうぼうし ②感染症防止 じこぼうし ③事故防止</p>	<p>じゅうじつ なつやす 充実した夏休みに！</p> <p>もくひょう た 目標を立て、 じぶん まな 自分で学び、 どりよく つづ 努力を続ける！</p>
--	--	---

## 8月から10月の主な行事予定

- 8月 10日(水)～18日(木) 学校閉庁日
  - 21日(日) PTA愛校作業
  - 29日(月) 始業式・4時間授業給食あり
  - 9月 1日(木) 全校集会
  - 8日(木) 代表委員会
  - 22日(木) 児童集会
  - 23日(金) 秋分の日(祝日)
  - 10月 19日(水) 振替休業日(10/22分)
  - 22日(土) 運動会
- ※ あくまで予定ですので変更等もあり得ます。

## 新聞の投稿欄に本校児童の原稿が掲載されました②



「読者のひろばへの情報発信隊」は、現在8人で活動しています。新たに3人の投稿が掲載されましたので、紹介しておきます。

「自らチャレンジして、出版物に自分の作品が掲載された子どもたち」にとって、「掲載されることは、自分が既に経験したこと」であり、

「自分には可能なこと・何とかなる普通のこと」となっていきます。自ら希望して取り組み始めたことですので、自然にこのような感覚が生まれてくるようです。

子どもたちがチャレンジする目標は、何でも構いません。子どもたちが「目標を決め、自ら学び、努力すれば、いろいろなことが何とかなる…」と考えることができるようになることが大切です。

※ 個人情報保護等のため、ホームページ上での公表を控えさせていただきます。

月 日付 熊本日日新聞「読者のひろば～若者コーナー～」より

※ 個人情報保護等のため、ホームページ上での公表を控えさせていただきます。